学校部活動から地域クラブ活動へ

～ すべての生徒の多種多様な活動機会を保障する《佐野モデルⅡ》～

令和８年10月8日　佐野市教育委員会教育総務課

佐野市の部活動改革

佐野市では、部活動改革の取組を紹介する「佐野市立学校部活動**地域移行**通信」を発行してきましたが、国の動向等を踏まえ、今回から名称を「佐野市立学校部活動**地域展開**通信」に改め、本市における部活動改革の取組について紹介していきます。

１　改革の取組は令和３年度から

佐野市では、国の実証事業の指定を受け、令和３年度から部活動の地域移行・地域展開に取り組んでいます。

令和３・４年度は、田沼東中学校を拠点校に指定し、休日の部活動の約半分※1 をNPO 法人たぬまアスレチッククラブが運営する地域部活動※2 として実施しました。

その後、拠点校を拡大させ、令和７年９月からは市立全中学校・義務教育学校の全部活動※3 を対象に、**休日の活動の半分を地域クラブの活動として実施**しております。

※1　コロナ禍のため、回数は半分未満　　※2　令和５年度以降は「地域クラブ活動」と名称変更

※3　一部未実施

２　現在の実践　←《佐野モデル》に基づく実践

現在本市では、部活動地域移行推進計画《佐野モデル》に基づき、学校部活動の地域移行(今後は「地域展開」に名称変更)を進めております。

今年度もNPO 法人たぬまアスレチッククラブの運営の下、以下のとおり地域クラブ活動を実施しております。

〇78 の部活動が、地域展開休日月２回地域クラブとして活動

〇参加生徒者は、運動系：1,545 名、文化系：107 名　計 1,652 名※4

〇指導者は 101 名

※4　令和８年５月末の人数

☆実践例を紹介します

（1）全校一斉実施型

〇陸上競技

市立全８校の陸上競技部が月２回清酒開華スタジアム(佐野市運動公園陸上競技場)で、一斉に地域クラブの活動として活動しております。



短距離や長距離など種目ごとに分かれ専門的な指導を受けています。

なお、陸上競技は佐野高校附属中の生徒も一緒に活動しております。

〇サッカー



　サッカー部が設置されている市立６校がコンチネンタルホームフィールド(佐野市運動公園第１多目的球場)やハートフル保険フィールド(佐野市運動公園第２多目的球場)などで全校一斉に活動しております。

　部員数が少なく合同チームで大会に参加する学校もありますが、全校一斉に実施することで、充実した活動ができています。

（2）複数校合同実施型





　平日は学校ごとに活動しながら、休日の地域クラブ活動は複数校が合同となる活動です。

　右の写真は田沼東中とあそ野学園義務教育学校が合同で活動している剣道とバレーボール(女子)の様子です。２校合同で活動することで一定数の部員を確保することができるため、質の高い練習やチーム練習ができます。

　なお、中学校体育連盟主催の各大会については、学校ごとに参加しています。

（3）単独校実施型



　部員数が適正な規模で維持できていたり、使用する用具の関係などから、合同での実施が難しい種目では、平日は部活動、休日（現段階では月２回）は地域クラブとして活動しています。

　右の写真は学校単独で活動している北中の吹奏楽の様子です。

※資料写真は令和７年度の活動の様子

　今回は、部活動地域展開の現在の状況について整理しました。

　次号からは、今後の本市のおける部活動改革の取組を順次紹介していきます。

　なお、本市の部活動改革については、佐野市ホームページにも情報が掲載されています。部活動地域展開の進捗状況などの情報を随時掲載していきます。

★本事業についての問い合わせ　佐野市教育委員会教育総務課　TEL　0283(20)3106